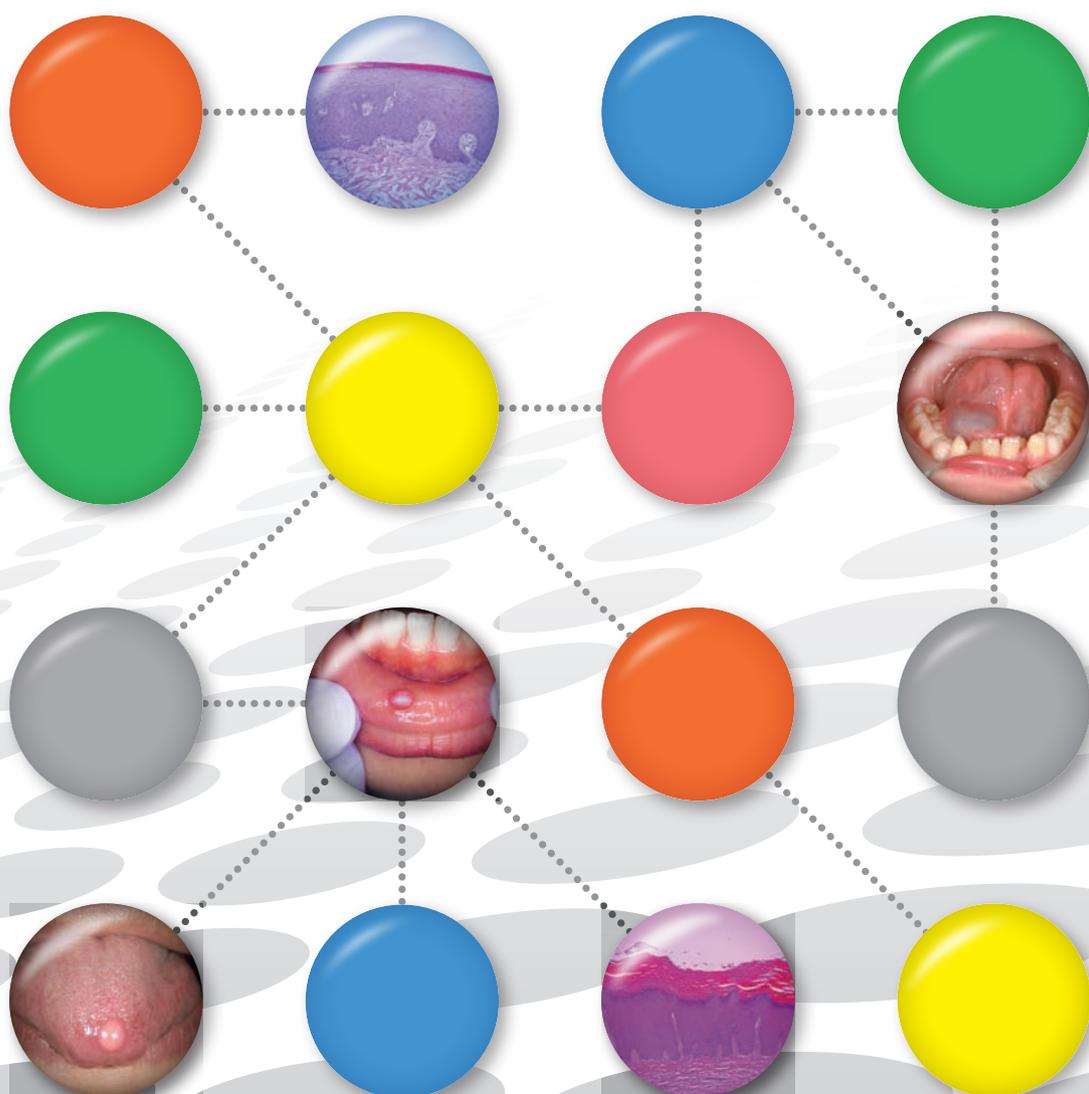


臨床家のための 口腔粘膜疾患

Check Point

神部 芳則
出光 俊郎
槻木 恵一
編著



医歯薬出版株式会社

舌

②

症例 3



初診時口腔内写真

概要と経過

患者 49歳，女性

主訴 舌にできものがある

現病歴

2008年頃に舌尖部中央の腫瘤を自覚したが，症状はなく放置していた，2013年7月よりやや増大傾向を示し，接触痛を認めたため近歯科を受診した，その後，精査加療目的に当科に紹介受診となった。

既往歴，アレルギー，家族歴 特記事項なし

現症

舌尖部中央に正常粘膜色で弾性硬，表面平滑である腫瘤性病変を認めた，自発痛や圧痛，接触痛は認めなかった。

臨床診断 線維腫

処置および経過

2013年11月，局所麻酔下に約1mmのマージンを含めて腫瘤を切除した，病理組織検査の結果，線維腫との診断であった，その後創部の治癒経過は良好で，同年12月に

当科終診とした。

解説

非歯原性の良性腫瘍である線維腫は、舌、歯肉、頬粘膜、口唇などあらゆる部位に発生する。線維腫は線維芽細胞とコラーゲン線維の増殖からなる腫瘍であるが、口腔領域では真の腫瘍はまれであり、歯や義歯などの慢性刺激による増殖性の変化により生じることが多い。腫瘍は正常粘膜に覆われ境界は明瞭であり、大きなものは外向性に隆起する。大きくなると有茎性あるいは広基性を示すことが多く、通常痛みはない。硬さは含まれるコラーゲン線維の量によって異なる。

治療法としては、明らかな原因と考えられる刺激がある場合には刺激の除去を行い、外科的切除が基本である。

鑑別疾患



① 血管腫

舌尖部に青紫色で弾性軟の腫瘤を認める



② リンパ管腫

舌前方に暗赤色や暗紫色の小胞を多数認める



③ 舌アミロイドーシス

舌背部前方に多数の結節を認める



④ 粘液嚢胞

舌尖部舌下面に波動を伴う腫瘤を認める

症例供覧

患者 53歳，女性

経過

以前から頬粘膜にびらんを生じることがあった。2週間前から口唇，口腔内にびらんが急速に拡大したため，近くの皮膚科を受診。精査依頼で当科に紹介受診した。

両側頬粘膜に周囲に網状の白斑を伴う紅斑，びらんを，また下唇には痂皮の付着を認め，歯肉の発赤も著明であった。C型肝炎，肝硬変のためインターフェロン療法中であった。病理組織学的に扁平苔癬と診断された。

